

「香美市立香北中学校 ー林業教室ー」

講師：香美森林組合

令和6年10月15日（火）、香美市立香北中学校の1年生を対象に林業教室が実施されました。昨年と同じく、講師は香美森林組合の田辺さん。3時限目と4時限目の枠をフル活用し、映像や実技を織り交ぜながら講義を行っていただきました。

林業は、「植える」→「育てる」→「伐る」→「運ぶ」→「加工する」→「売る」といったたくさんの工程があること、木は育つまでに約50年の期間が必要であることなどの説明から、林業は「循環産業」であることを学んだ後、間伐の重要性や、森林のはたらきについても詳しく学びました。

間伐の重要性についての講義では、木が密集していると、すべての木に十分な光が当たらないため、木の生育が進まず土砂崩れの要因になることを説明。「あらかじめ間隔を空けて植えれば良いのでは？」との疑問には、あらかじめ間隔を空けて植えると、木がまっすぐ育たないので、間伐が重要だと説明をしていただきました。

また、山と川のつながりについて、適切に管理された健康な森林は、降水を貯留し、土砂流出や洪水を緩和するほか、浄化されたきれいな水を育み、川の流量を安定させる機能を持っていることなどを教えていただきました。

校舎の窓から豊かな森林が見える香北中学校で、身近な産業を詳しく知ることのできる良い機会となりました。

